

取扱説明書

この商品は家庭で調理するために使うものです。
使用の際には取扱説明書をよく読んでから使用してください。

不適切な取扱いは事故につながります。

使用する方はこの取扱説明書を必ず保管してください。

要保管

警告

- 調理中(加熱中)は絶対にその場を離れないでください。離れる時には必ず、加熱をやめてください。
- 調理中に油煙が多く出たら加熱をやめてください。油が発火して、火災の危険があります。
- 空焚きはしないでください。製品や加熱機器の破損原因になります。

使用上の注意

- 炒め鍋としての用途以外は使用しないでください。
- 天ぷらなどの揚げ物料理に使用しないでください。油に引火する恐れがあります。下ごしらえなどで油を使用する際には油の温度を200℃以上にさせないでください。
- 調理中や調理の直後は本体が熱くなっています。やけどの危険がありますので、幼児の手にふれないようにしてください。
- 縁まで水などを満した状態で使用しないでください。
- 取っ手は熱くなりやけどの危険があります。
- 本体はコンロの中央部に乗せて安定させて使用してください。
- 炎が鍋の底面からはみ出さないように使用してください。炎により取っ手がこげて危険です。また隣接したコンロの炎が取っ手にあたらないように向きを調整してください。
- 取っ手がゆるんだら使用しないでください。脱落してやけどの危険があります。締め直してから使用してください。
- 取っ手のガタつきや取っ手の破損に対し、改造や応急処置などの手当てをして使用することは危険ですのでやめてください。
- 急激な衝撃を与えたり、空焚きはしないでください。空焚きは火災や本体の変形、取っ手の破損ややけどの原因になります。万一、空焚きをしてしまった場合は水などで急に冷やさず、自然に冷ましてください。
- 急冷しないでください。変形する恐れがあります。
- 吹きこぼれ、煮こぼれしないように使用してください。ガスの炎が消えたり、調理器の故障の原因になります。
- ストーブの上では危険ですから使用しないでください。
- アクの強い材料を調理すると調理の汁などが変色することがあります。アク抜きを十分に行ってから調理してください。
- 調理中、時々料理をかきまぜてください。こげつくことがあります。
- 電子レンジでは使用しないでください。電子レンジの故障や火災の原因になります。

電磁調理器(クッキングヒーター)をご使用の場合

- トップレート(天板)に置いたまま、本品をずらしたり、あおたりしないでください。摩擦や衝撃の影響によりトップレートに傷が付くおそれがあります。
- 本体を温めるだけの加熱でも急激に温度が上昇するため、十分注意してください。
- 予熱をする際の火力は必ず弱(弱火)で行ってください。強(強火)での予熱は本体の変形や破損の原因になります。
- 普段ご使用の際、火力は必ず中(中火)以下で使用してください。特に200Vの調理器(クッキングヒーター)をご使用の場合、最大火力で加熱しますと本体の破損の原因となり、やけどや火災などの事故につながる恐れがあります。また、加熱中にブーンやジーンといった音が生じることがありますが、これは本体が振動し、共鳴しているため、製品の異常ではありません。

使用前の準備

- ご使用前には必ず、各部に異常のないことを確認してください。各部にガタつきや変形などが生じている場合には使用しないでください。ネジがゆるんでいる場合は締め直してください。
- 最初に使用する時は、製品に貼ってあるシールなどをはがしてから食器用中性洗剤を付けて、柔らかなスポンジで十分に洗い、乾かしてから使用してください。
- 品質には万全を期していますが、万一不具合があった場合には、使用しないで**(株)タマハシ** お問い合わせ先まで連絡ください。
- 加熱機器の注意書をよく読んで上で正しくお使いください。

お手入れ・保管について

- 使用後は食器用中性洗剤を付けて柔らかなスポンジで洗い、水気を拭き取り乾燥させてください。お手入れが不十分だと白い粉状のものが付着してきますが、水道水中の微量成分が固まったもので、性能および衛生上の問題はありません。
- 表面を傷つけますので洗う際は、スチールたわし・研磨剤・酸性及びアルカリ性洗剤の使用は避けてください。
- 塩分や酸を含んだ汚れを付着したまま、又は濡れたまま放置したり、湿気の高い場所での保管はふっ素樹脂皮膜の損傷の原因となります。
- 調理後は本体内で料理を保存しないでください。
- こげつきなどを落とす際は、金属製の固いものを使用しないでください。熱湯に浸してこげつきを柔らかくしてから取り除いてください。
- 手の届きにくい高所には保管しないでください。取り出し時に落下する危険があります。
- 食品衛生法に適合した塗料を使用しておりますので、人体に影響はございません。
- 洗浄後、必ず取っ手取り付け部の中にあまった水を抜き乾燥させてください。水がたまったまま放置しますとサビや腐食の原因になります。

より長くお使いいただくために

- ヘラをご使用する際は、木、竹、プラスチック製等をご使用ください。
- ふっ素樹脂皮膜を長持ちさせるため、火力は中火以下でご使用ください。

※製品仕様は予告なく変更することがあります。

品質表示

- 材料の種類/本体：アルミニウム合金
はり底：ステンレス鋼(クロム18%)
(底の厚さ3.5mm(はり底を含む))
- 表面加工/外面：焼付塗装
内面：ふっ素樹脂塗膜加工
- 寸法/28cm



商品、取扱説明書の不明な点についての問い合わせ先

Tamahashi co., Ltd.

輸入販売元 株式会社 タマハシ

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL 0256-63-9545 FAX 0256-66-2252

製造番号

強化ガラス蓋の使用上の注意

- 本品は耐熱ガラスではありません。
- ガラス蓋を鍋本体からすらした状態で使用しないでください。また、落し蓋として使用しないでください。
- ガラス蓋に直接火をあてないでください。蓋が部分的に過熱し破損の原因になります。（この時、蓋のステンレスリングが変色しています。）
- ガラス蓋が熱いうちに、水をかけたり濡れた布巾で触れる等、急冷はしないでください。急激な温度変化を加えると破損の原因になります。
- ガラス蓋を落としたり、ぶつけたりしないでください。急激な衝撃を与えると破損の原因になります。
- ガラス蓋にキズがついた場合は使用しないでください。そのまま使用すると破損の原因となります。
- 電子レンジやオーブンには使用しないでください。
- ガラス蓋を洗う際は、金属たわしやクレンザーは使用しないでくださいガラスの表面にキズをつけ破損の原因となります。
- 万一、破損した場合にガラス片が激しく飛散し、ケガをする恐れがあります。また割れたガラスを取り除く際は、ケガをする恐れがありますので十分注意してください。

※つまみがゆるんだ場合は止まるまで右に廻してください。

※つまみを取り付ける際は過度に力を加えますと、ガラス蓋・つまみが破損する危険があります。止まるまで注意して右に廻して下さい。

ガラス蓋：全面物理強化ガラス

全面物理強化ガラスとはガラスに加工（加熱・急冷）を加えることで表面付近の分子が通常の板ガラスよりも密になり、耐熱強度・耐衝撃強度が高くなったガラスです。また割れた場合、通常ガラスですと破片でケガをする恐れがありますが、強化ガラスは破片が粉状になりケガをしにくいという特徴があります。

身の回りでは、ビルのガラスドア・自動車・エスカレーター・家具等に幅広く使用されています。

ごくまれに全面物理強化ガラスは表面が強化されているため、細かいキズがつくなどしてバランスがくずれると外部から衝撃が加わってないにもかかわらず、瞬間的に音と共に破裂する恐れがありますので使用上の注意を守って下さい。

- 品質には万全を期していますが、万一不具合のあった場合には、使用しないで
㈱タマハシ お問い合わせ先までご連絡ください。
- 製品用途以外の目的には、使用しないでください。

輸入販売元 **株式会社 タマハシ**

〒959-1241 新潟県燕市小高4549-6
TEL 0256-63-9545 FAX 0256-66-2252